



園だより[3月]



(ふじみこども園HP)

令和8年2月27日
千代田区立ふじみこども園

「1年間の感謝を込めて」

園長 小林 晶子

早いもので、今年度も残り1か月となりました。今年度は、開園15周年記念の年であり、行事や活動の中に、お祝いの内容を盛り込んできました。階段アートのデザイン投票や有志親子によるちぎり絵、全園児親子によるお祝いメッセージカード作成等、保護者の皆様にもたくさんご協力いただきました。お陰様で、年度末の保護者アンケートでは、124名の提出者の内の120名(96.8%)の方に「開園15周年の企画を親子で楽しめた」とご回答いただき、園のみんなで楽しむ取組になったことに喜びと感謝の気持ちでいっぱいになりました。

先日、園庭でひとりの子どもが、フラフープに宇宙人に見立てたボール(以降「宇宙人」と表記)を入れて巻き付けた縄を引いて動かそうとする姿に出会いました。縄を引っ張ると、フープにからげた縄がするすると抜けて、「宇宙人」を動かすことができません。それでもあきらめずに何度も繰り返す姿に感動を覚えたほどです。すると、フープにからげる回数を増やすことを考えて行い、見事に「宇宙人」を動かすことに成功しました。フープにからげた縄の両端を手にして引っ張ったり、縄をフープに結び付けたりすることを大人が教えれば簡単に成功することですが、子ども自身が考えて成功したことにとっても意味がありました。そのことを分かっていた担任は、ずっと見守り、成功したところで「やったねー!」と声を掛けていました。担任に認められて満面の笑みを浮かべたその表情は輝いていました。

今年度は、子どもの主体性を育む環境や援助を工夫するために、職員間の対話による学び合いを重点に研究・研修を行ってまいりました。その結果、職員の対話について以下の3点で向上したと外部講師から講評いただいたことはうれしいことでした。(①保育の具体的な場面をについてよりよくするためには何ができるのか、という問題解決志向になっている②互いの保育の批判でなく、よいところの共有がなされている③保育や子どもの理解を深く行っている)そして、何よりも、主体性につながる発達に応じた8項目【安心・安定、興味・関心(もの・人・ことに対して)、自己表出・表現(自己の遊びの中で・他者との関わりの中で)、遊びの目的・見通し、身の回りの自立】のいずれかの項目について、全園児に成長が見られたことが何よりも喜びでした。

1年間で成長した子どもたちが、4月の進級・進学でさらに経験を重ねて育っていくことが楽しみでなりません。園の保育・教育を支えていただいた保護者の皆様、地域の方々皆様に感謝申し上げます。

★CES 掲示板★

<2月のねらい> ※4歳児2組の活動を中心にお知らせします。

○リサイクルの仕組みを知ろう

動画を視聴してリサイクルの仕組みを知りました。今まで学級では、一度製作に使った空き箱を分解して再度使える状態にすることを「リサイクル」と呼んでいました。実はそれをリユースと呼び、リサイクルは違うものであることを動画を視聴したことで、子どもたちと確認しました。ペットボトルがリサイクルされて衣服やランドセルになることを知ると、驚いたり嬉しそうにする姿がありました。

○ゴミを分別したり、物を大切に使う量を減らしたりしよう

好きな遊びの時間の製作では、紙やテープの無駄が少ない使い方を指導しています。特に、画用紙や折り紙などを切った後の切れ端も、ある程度の大きさがある場合には取っておいて、小さな紙を切り出した時にそこから使えるようにしています。

空き箱工作



空き箱入れ



<3月のねらい> ※環境教育の日を中心に指導を行います。環境教育の日は、3月10日（火）です。

○身近な春の自然に気が付いたり、親しみをもったりする

園庭遊びやお散歩、お部屋の自然物コーナー等を通して花や野菜、虫などに気が付いたり、触れ合って親しみをもったりします。

知っていますか？グリーン商品購入

グリーン購入とは、製品やサービスを購入する際に、環境を考慮して、必要性をよく考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入することです。令和7（2025）年1月閣議決定では、22分野288品目が対象になっています。グリーン購入は、消費生活など購入者自身の活動を環境にやさしいものにするだけでなく、供給側の企業に環境負荷の少ない製品の開発を促すことで、経済活動全体を変えていく可能性をもっています。ふじみこども園では、グリーン購入法に基づきエコマークやグリーンマークの付いた環境にやさしい商品を購入しています。

（出典：環境省ホームページ）

